

九州・台湾經濟交流ミッション2015 (平成26年度日台産業協力架け橋プロジェクト) 開催結果

2015年3月
九州経済産業局国際部



台湾との経済交流 ー日台産業協力架け橋プロジェクトー

- 2012年11月の交流協会と亜東関係協会との「日台産業協力架け橋プロジェクト等覚書」の締結をきっかけとして、台湾側は「台日産業連携推進オフィス」(TJPO)を開設、日本側も支援体制を整備するなど、日台の産業協力関係を取り巻く環境は加速度的に進展。
- 九州においても、2012年6月の九州経済連合会と中華民国工商協進会とのMOU締結以降、台湾との経済交流が活発化。
- 平成26年度日台産業協力架け橋プロジェクトにおいて、九州経済国際化推進機構と九州経済連合会との共同提案事業が採択され、「九州・台湾経済交流ミッション2015」を派遣し、台湾においてセミナー及び商談会等を実施。

九州・台湾経済交流ミッション2015 (平成26年度日台産業協力架け橋プロジェクト)

1. 日 程 : 2015年3月4日(水)～6日(金)
2. 会 場 : 台北国賓大飯店
3. 主 催 : 中華民国工商協進会、(一社)九州経済連合会、九州経済国際化推進機構、(公財)交流協会
4. 参加者 : 240名(九州73名、台湾167名)
5. プログラム :
 - 3/4(水) ・現地調査(台北港)、歓迎レセプション
 - 3/5(木) ・セミナー、商談会、交流会(架け橋事業)
 - ・MOU締結(博多港ー台北港)
 - ・日系企業との意見交換会、台湾総統府表敬
 - 3/6(金) ・台北国際工作機械見本市(TIMTOS)
 - ・現地調査(裕毛屋崇徳店) ほか

【同時開催】日台架け橋プロジェクト台南ミッション(地域間交流支援)

1. 日 程 : 3月2日(月)～5日(木)
2. 参加者 : 水俣市長、熊本大学、ジェトロ熊本など12名
3. プログラム :
 - 3/2(月) 台湾日本人会高雄支部等との意見交換
 - 3/3(火) 台南市政府表敬、JNC台南との意見交換
 - 3/4(水) MOU締結(水俣市ー南栄科技大学)



2015九州・台湾経済交流セミナー



九州・台湾ビジネス商談会



水俣市と南栄科技大学とのMOU調印式

日台産業協力架け橋プロジェクトとは

- 台湾側の提案を受け、日本側:交流協会、台湾側:亜東関係協会の枠組みの下、産業協力プロジェクトを進めることで合意。
- 2012年度は13分野のプロジェクトを進めることで合意(デジタルコンテンツ、バイオ、半導体、クリエイティブ産業等)。
- 2012年11月29日の日台貿易経済会議にて、協力強化に関する覚書に署名。
- 2013年度は、交流協会が予算を確保し、公募・採択した5件のプロジェクトを実施。
- 2014年度は、以下6件のプロジェクトを実施。

- ① バイオ医療関連分野
(公募、7月に台北で開催)
- ② 首都圏産業活性化協会
(健康福祉関連、8月に台北で開催)
- ③ 福岡アジアビジネスセンター
(デジタルコンテンツ、9月に台北で開催)
- ④ 大阪商工会議所
(水処理関連、10月に台北で開催)
- ⑤ やまぐち産業振興財団
(環境・食品機械、10月に台北で開催)
- ⑥ 九州経済連合会／九州経済国際化推進機構
(3月に台北で開催)

行程

日程	時刻	行程・用務	備考
3月2日(月)	10:10-11:50	福岡空港→台北桃園空港(CI111便)	台南ミッション(地域間交流支援)
	15:30-18:00	交流協会高雄事務所表敬、高雄港視察	
	18:30-20:30	台湾日本人会高雄法人部等との意見交換(@高雄レストラン)	
3月3日(火)	11:00-12:00	台南市政府表敬(@台南市栄華市政中心)	
	14:30-16:30	JNC(株)台南工場との意見交換(@JNC(株)台南工場)	
	18:30-20:30	JNC(株)及び南栄科技大学との意見交換(@台南レストラン)	
3月4日(水)	9:00-10:00	包括的連携協定締結式(@南栄科技大学7階)	
	10:10-11:50	福岡空港→台北桃園空港(CI111便)	九州・台湾経済交流ミッション2015
	14:30-17:00	現地調査(@台北港)	
	18:30-20:30	中華民国工商協進会歓迎レセプション(@台北レストラン)	
	18:30-20:30	台湾ミッション団夕食会(@台北レストラン)	
3月5日(木)	9:30-12:30	セミナー(@国賓大飯店)	
	12:40-15:00	日系企業との意見交換会(@国賓大飯店)	
	13:00-17:00	商談会(@国賓大飯店)	
	16:00-16:30	台湾総統府表敬	
	18:00-20:00	交流会(@国賓大飯店)	
3月6日(金)	10:00-12:00	台北国際工作機械見本市(TIMTOS)(@世界貿易中心)	
	10:30-12:30	現地調査(裕毛屋崇徳店)(@台中)	
	17:35-20:45	台北桃園空港→福岡空港(CI110便)	

団員名簿

九州・台湾経済交流ミッション2015参加者名簿

	会社名	出席者情報		氏名	氏名(英字)
		所属・役職名			
1	1 株興電舎	代表取締役	甲斐 稔康	KAI Toshiyasu	
2	1 株興電舎	営業部 シニアセールスエンジニア	別宮 庄蔵	BETSUMIYA Shozo	
3	1 株興電舎	技術通訳担当	工藤 康弘	KUDO Yasuhiro	
4	1 三聯科技股份有限公司	技術顧問	張 玉徳	Yu The Chang	
5	1 三聯科技股份有限公司	秘書	洪 靖雯	Gill Hung	
6	2 西日本鉄道株	新規事業・観光レジャー業務部	奥村 洋介	OKUMURA Yousuke	
7	2 台湾西鉄国際物流股因有限公司	董事兼執行総経理	高橋 広志	TAKAHASHI Hiroshi	
8	2 台湾西鉄国際物流股因有限公司	業務開発経理	石田 忠	ISHIDA Tadashi	
9	3 双日九州株	代表取締役社長	大野 滋	ONO Shigeru	
10	3 双日九州株	社長付	衛藤 正論	ETO Masanori	
11	3 双日九州株	経営推進室 副室長	金岡 祐司	KANEOKA Yuji	
12	4 株フンドーダイ五葉	海外事業部	太田 百美	Ota Momomi	
13	5 グリーン大輝	代表	加藤 輝夫	KATO Teruo	
14	6 長菱エンジニアリング	技術開発部 次長	児玉 克	KODAMA Masaru	
15	7 株システム技研	代表取締役	長峯 清隆	NAGAMINE Kiyotaka	
16	7 株システム技研	総務課	長峯 麻耶	NAGAMINE Maya	
17	8 琉球海運株	営業部外航課 係長	古見 泰亨	KOMI Yasuyuki	
18	8 永安船務代理股份有限公司	総経理	陳 俊秀	J.Jason Chen	
19	9 株電通九州	代表取締役	堀 宏明	HORI Hiroaki	
20	10 九電産業株	常務取締役	實松 友治	JITSUMATSU TOMOHARU	
21	11 サンポー食品株	企画管理部長	牟田 厚志	MUTA Koshi	
22	11 サンポー食品株	企画管理部	井上 正明	INOUE Masaaki	
23	12 岳将	代表取締役社長	岳 将士	TAKE MASASHI	
24	13 (株)安永ギヤーテック	代表取締役	安永 博政	YASUNAGA HIROMASA	
25	14 井上製氷冷蔵(株)	代表取締役	井上 裕文	INOUE HIROFUMI	
26	14 井上製氷冷蔵(株)	顧問	藤本 隆司	FUJIMOTO TAKASHI	
27	15 光栄テクノシステム(株)	代表取締役社長	安武 良祐	YASUTAKE RYOSUKE	
28	16 株ソノダ	代表取締役社長	園田 昌徳	SONODA MASANORI	
29	17 八洲産業株	取締役執行役員	田島 一義	TASHIMA KAZUYOSHI	
30	18 株シマブン	代表取締役	島 信英	SHIMA NOBUHIDE	
31	19 佐藤産業株	代表取締役 社長	佐藤 隆寛	SATOH Takahiro	
32	20 株マインドフィールド	代表取締役	植田 正敬	UEDA Masataka	
33	21 株古賀歯車製作所	代表取締役 社長	古賀 俊宏	KOGA Toshihiro	
34	22 第一施設工業株	代表取締役	篠原 統	SHINOHARA Osamu	
35	23 株古賀新	代表取締役	古賀 博明	KOGA Hiroaki	

【主催及び事務局】				
36	九州経済産業局	局長	岸本 吉生	KISHIMOTO Yoshio
37	九州経済産業局	国際部国際事業課長	石丸 晃	ISHIMARU Akira
38	九州経済産業局	国際部国際課 統括係長	山口 寛	YAMAGUCHI Hiroshi
39	九州経済連合会	会長	麻生 泰	ASO Yutaka
40	九州経済連合会	国際部長	西川 治	NISHIKAWA Osamu
41	九州経済連合会	国際部 次長	吉川 藤雄	YOSHIKAWA Fujio
42	九州経済連合会	国際部 副部長	松尾 慎治	MATSUO Shinji
43	交流協会 台北事務所	代表	沼田 幹夫	NUMATA Mikio
44	交流協会 東京本部	専務理事	舟町 仁志	FUNAMACHI Hitoshi
45	交流協会 台北事務所	副代表	花木 出	HANAKI Izuru
46	交流協会 東京本部	貿易経済部長	情野 久美子	SEINO Kumiko
47	交流協会 東京本部	貿易経済部 副長	明賀 崇伸	MYOGA Takanobu
48	交流協会 台北事務所	経済室 主任	後藤 俊治	GOTO Toshiharu
49	(公財)福岡県中小企業振興センター	理事長	高木 郁夫	TAKAKI Ikuo
50	(公財)福岡県中小企業振興センター	参事	井上 憲一	INOUE Knichi
51	(公財)福岡県中小企業振興センター	情報取引推進課長	前田 昭	MAEDA Akira
52	博多港ふ頭(株)	代表取締役社長	江頭 和彦	EGASHIRA Kazuhiko
53	博多港ふ頭(株)	事業企画部長	二宮 保	NIMOMIYA Tamotu
54	博多港ふ頭(株)	事業企画部営業課 課長代理	渋谷 朝之	SHIBUYA Tomoyuki
55	麻布スローエ・エンガリング(合)	(一)九州日台経済文化交流院 副会長	鈴木重幸	SUZUKI Shigeyuki
56	(株)大東エンタープライズ		正本 和希	MASAMOTO Kazuki
57	株式会社高橋商店	(一)九州日台経済文化交流院 理事	高橋 努武	TAKAHASHI tsutomu
58	個人	(一)九州日台経済文化交流院 監事	高野 礼子	TAKANO Reiko
59	個人	歴史郷土研究家	庄村 福夫	SHIMURA Fukuo
60	個人	柳川伝承まり・さげもん研究会 代表	緒方文子	OGATA Fumiko
61	個人	柳川伝承まり・さげもん研究会	山本久美子	YAMAMOTO Kumiko
【台南ミッション】				
62	熊本県水俣市	市長	西田 弘志	NISHIDA Hiroshi
63	熊本県水俣市	総合経済対策課長	下川 満夫	SHIMOKAWA Mitsuo
64	熊本県水俣市	総務課 秘書	緒方 卓也	OGATA Takuya
65	熊本県水俣市議会	議長	大川 末長	OKAWA Suenaga
66	熊本県水俣市議会	議会事務局長	田畑 純一	TABATA Juniti
67	JETRO熊本	所長	奥泉 和則	OKUIZUMI Kazunori
68	熊本大学	名誉教授	鳥飼 香代子	TORIKAI Kayoko
69	五木村役場	建設課 技術専門職	持田 美沙子	MOCHIDA Misako
70	JNC台湾株	総経理兼任工事長	小林 加津彦	KOBAYASHI Katsuhiko
71	交流協会 東京本部	次長	皆川 幸夫	MINAGAWA Yukio
72	九州経済産業局	国際部国際事業課 課長補佐	鳥山 一成	KARASUYAMA Kazushige
73	交流協会 高雄事務所	次長	山口 幸文	YAMAGUCHI Yukufumi

台南ミッション

- 九州において、台湾との新たな投資案件の発掘、推進を図ることは重要であり、平成26年度日台産業協力架け橋プロジェクトの地域間交流支援事業として「台南ミッション」を実施。

台南ミッションの概要

1. 日程：2015年3月2日(月)～5日(木)

2. メンバー：12名

- ①西田 弘志 水俣市長
- ②大川 末長 水俣市議会議員
- ③奥泉 和則 JETRO熊本貿易センター所長
- ④鳥飼香代子 熊本大学名誉教授
- ⑤持田美沙子 五木村役場建設課技術専門職
- ⑥小林加津彦 JNC台湾(株) 総経理兼任工場長
- ⑦山口 幸文 日本交流協会高雄事務所副所長
- ⑧皆川 幸夫 (公財)交流協会貿易経済部次長
- ⑨烏山 一成 九州経産局国際事業課課長補佐
- ⑩田畑 純一 水俣市議会事務局長
- ⑪下川 満夫 水俣市総合経済対策課長
- ⑫緒方 卓也 水俣市長秘書

3. 主な内容：

水俣市では、近年、南栄科技大学(@台南市塩水区)からの留学生受入れ交流を熊本大学の鳥飼名誉教授を通じて実施していること、台南市には、水俣市が発祥の地であるチッソ(現株JNC)の工場が立地し、これまでも台南市から水俣市へ多くの方々が製造研修に訪れていること等から、今年度水俣市関係事業をモデル事業に選定し、九州と台湾との地方レベルにおける経済交流を促進。

また、西田市長には3月5日(木)の経済交流セミナーにて、前日にMOUを結んだ南栄科技大学との包括的連携協定の報告を含む講演を実施。

主な行事

●台湾日本人会高雄支部法人部等との意見交換

(1)日時：2015年3月2日(月)18:30～20:30

(2)会場：海天下(高雄市)

(3)内容：北村 克紀 日本人会会長(JAL高雄支店長)をはじめ高雄側代表者7名との意見交換

●台南市政府表敬

(1)日時：2015年3月3日(火)11:00～12:00

(2)会場：台南市栄華市政中心

(3)内容：顔 純左 台南市政府副市長をはじめ関係課等と経済交流促進に向けた意見交換

●JNC台南工場との意見交換

(1)日時：2015年3月3日(火)14:30～16:30

(2)会場：JNC(株)台南工場

(3)内容：小林加津彦JNC台湾(株)総経理による工場案内、水俣製造所との連携のあり方等について意見交換

●水俣市と南栄科技大学側との包括的連携協定

(1)日時：2015年3月4日(水)9:00～10:00

(2)会場：南栄科技大学

(3)内容：MOU締結式

【調印者】西田 弘志 水俣市長

黄 聰亮 南栄科技技術大学長

【立会人】大川 末長 水俣市議会議員



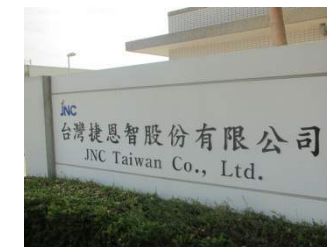
交流協会高雄事務所による概況説明



日本人会高雄法人部との交流



顔台南市政府副市長との会見



JNC台南工場の外観



行政服務暨活動中心



包括的連携協定調印式



南栄科技大学の外観



会場の様子

現地調査(台北港)

- 台北港の関係機関を訪問し、台湾の港湾・物流の現状、企業の取り組み等について意見交換を行った。

視察先

1. 日時: 2015年3月4日(水)14:30~17:00
2. 場所: 台湾／台北港務股份有限公司ビル
3. 視察先: 台湾港務(株)、東立物流(株)、台湾港コンテナふ頭(株)



【結団式】

【企業視察】

九州・台湾経済交流2015プログラム①(経済交流セミナー、MOU調印式)

- 九州地域と台湾との直接投資・貿易の促進及び中小企業等の交流促進を図ること等を目的として、下記経済交流セミナー等を開催。
- また、九州企業と台湾企業との間でMOU調印式を行った。

経済交流セミナー

1. 日 時: 2015年3月5日(木)9:30~20:00
2. 会 場: 台湾／国賓大飯店
3. 主 催: 中華民国工商協進会、(一社)九州経済連合会、九州経済国際化推進機構、(公財)交流協会
4. 内 容: 下記のとおり
《経済交流セミナー》『テーマ:台湾と九州の経済交流の深化について』

○講演①／テーマ「台湾と日本の産業戦略アライアンスの方向について」
講演者 中華民国三三企業交流会 会長 江 丙坤

○パネルディスカッション／テーマ「台湾と日本の産業戦略アライアンスの方向について」
パネリスト 中華民国工商協進会 名誉会長 黄 茂雄(コーディネーター兼務)
中華民国三三企業交流会 会長 江 丙坤
(一社)九州経済連合会 会長 麻生 泰
双日九州(株) 代表取締役社長 大野 滋

○講演②／テーマ「環境の産業化に向けて～環境モデル都市みなまたの挑戦～」
講演者 熊本県水俣市 市長 西田 弘志

MOU調印式

○事業連携紹介／

「台北港コンテナ埠頭(株)博多港ふ頭(株)港湾物流ITシステム連携及びMOU締結」

講演者 博多港ふ頭(株) 代表取締役社長 江頭 和彦

○『港湾情報システムにおける技術交流の覚書』

【調印者】台北港貨櫃碼頭股份有限公司 董事長 陳 志哲

博多港ふ頭(株) 代表取締役社長 江頭 和彦

【立会人】中華民国工商協進会 副理事長 辜 成允

(一社)九州経済連合会 会長 麻生 泰



九州・台湾経済交流2015プログラム②(商談会、交流会)

- (一社)九州経済連合会、及び中華民国工商協進会の主催で①環境・エネルギー、②観光・食、③産業機械をテーマとして、商談会を開催。
- 当日は、九州企業17社、台湾企業29社が参加し、1対1による商談が行われた。

商談会

1. 日時: 2015年3月5日(木)13:00~17:00
2. 会場: 台湾／国賓大飯店
3. 主催: 中華民国工商協進会、(一社)九州経済連合会
4. 参加企業: 九州側:17社、台湾側:29社
5. 成果: 商談件数約70件、成約件数(九経連とりまとめ中)



【商談会】

【交流会】

九州・台湾経済交流2015プログラム③(九州・台湾日系企業との意見交換会)

- 九州経済国際化推進機構と在台湾企業等の代表者が一堂に会し、九州と台湾の経済交流、貿易投資拡大等をテーマに、今後の九州・台湾の連携のあり方等について意見交換を行った。

九州・台湾日系企業との意見交換会

○日時: 2015年3月5日(木) 12:40~15:00
○会場: 台北国賓大飯店 12階「百馬廳」
○主催: 九州経済国際化推進機構

《昼食懇談》(12:40~13:40)

《意見交換》(13:40~15:00)

1. 開会(13:40)

・岸本 吉生 九州経済国際化推進機構顧問(九州経済産業局長)

2. 議事

(1) 台湾ビジネスの現状と課題 (13:40~14:10)

①九州関係企業からの説明(各5分)

・山下 芳夫 氏 台井科技股份有限公司(井上喜) 総経理
・川村 良樹 氏 台湾東陶股份有限公司(TOTO) 副総経理
・福永 達也 氏 台湾安川開発科技股份有限公司(安川電機) 総経理

②関係機関からのコメント(各5分)

・東山三樹雄 氏 台北市日本工商会 常務理事
(台湾三井物産(股)有限公司 董事長兼総経理)
・舟町 仁志 氏 (公財)交流協会 専務理事
・花木 出 氏 (公財)台北事務所 副代表

(2) 自由討議 (14:10~15:00)

- ①「台湾でのビジネス環境の改善」についてフリーディスカッション
- ②麻生会長、岸本局長から総括コメント

△台湾企業の動き

・台湾もチャイナプラスワンとして、ベトナム、インドネシア等ASEANに進出。当面、ミャンマーまでを活動範囲と捉えている。
・台湾の海外は、中国が7割、ベトナム、インドネシアが後に続く。中国では広東省、四川省、山東省の3級都市にも進出し、物流等のネットワークも構築。

△台湾の強み

・台湾は、電気代・交通費等インフラコストが安く、ICTのインフラも整備され、物流も発達、法人税率は17%と世界最低レベル。また、電気電子産業が発達し、関連需要も大きく、しかも安価で良質な現地サプライヤーが探しやすく、知的財産の法整備も整っている。

△台湾企業への期待

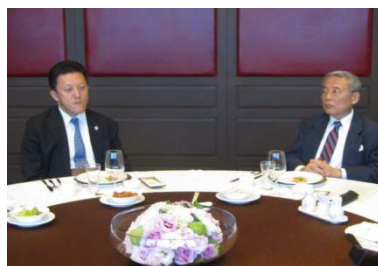
・東南アジアや大陸との繋がりが地理的文化的に深い地域なので、ゲートウェイとして最適。台湾人は日本企業管理の仕組みに親和性があり、マネジャーとして大陸や東南アジアに派遣し、労務管理を委ねている例が多い。
・市場のニーズを掴むことが大事。台湾企業は、単に水先案内人としてではなく、中国人のニーズを翻訳してもらうパートナーとして活用。また、中国・ASEANでは日本のスペックはオーバースペック、台湾のスペックが適当。
・九州の強みは、環境エネルギー分野と農林水産物・食品分野。台湾の商社を活用し、環境機器・環境技術を東南アジアへ展開するの一案。
また、日本の食品も中国に直接輸出することは難しいが、台湾経由(自由貿易特区等物流拠点の活用)により突破できるかもしれない。

△台湾の課題

・台湾の経済界は知日派が多いが、高齢化が進み、また若手が欧米に留学が多く、知日派の人材不足が懸念される。
・日本と違い、キャリアアップの文化で、転職率が高い。企業としては、社員教育に時間とお金を投入しているし、悩ましい問題。

△その他

・日本の外国人訪問者は、2010年の860万人から2014年年には1300万人に増えている。更なる増加には、通信インフラ(WiFi)を整備し、情報発信していくことが重要。ICTを活用した、九州の観光地の魅力を情報発信する「九州観光アプリ」をやりたいと考えている。
・中華民国対外貿易発展協会(TITRA)と連携して、20代後半の若い優秀な人材(大学院レベル)育成事業を展開。
・台湾も10年後には高齢化社会の到来を認識し、介護サービスに関心を持っているが、新光財閥でも進出を決めかねている状況。
・台湾進出企業の8割強が増収増益(黒字)、現地調達率は54%、賃金上昇率は2.5%とアジア最低。

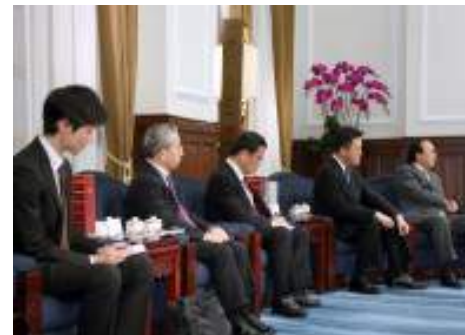


九州・台湾経済交流2015プログラム④(台湾総統府への表敬訪問)

- 台湾総統府を表敬訪問し、今回の訪台の報告と台湾情勢に関する意見交換を行った。
- 当日は、馬 英九 総統が対応(国賓級待遇)。予定時間(15分)を大幅に上回る会談となり成功裏に終了。

表敬訪問概要

1. 日時: 2015年3月5日(木)16:00~16:30
2. 場所: 台湾総統府貴賓室
3. 訪問者: 6名
 - ・麻生 泰 (一社)九州経済連合会 会長
 - ・沼田 幹夫 日本交流協会 台北事務所代表(大使)
 - ・岸本 吉生 九州経済産業局長
 - ・舟町 仁志 (公財)交流協会(東京) 専務理事九経連西川部長、交流協会後藤主任が同行



現地調査(裕毛屋崇徳店@台中市)①

訪問目的

- 九州・台湾経済交流ミッション2015(平成26年度日台産業協力架け橋プロジェクト)の現地調査として、2015年3月6日(金)、岸本局長をはじめ計5名で裕毛屋崇徳店(台湾・台中市)を訪問。
- 当日は、(株)裕源の謝社長、施店長をはじめ、店内従業員の協力によって店舗案内及び個々の商品紹介等が行われ、成功裏に現地調査を終了。

訪問概要

- (1)日 時:2015年3月6日(金)10:30~12:30
- (2)場 所:裕毛屋崇徳店(台中市北屯區崇徳路二段370號)
- (3)訪問者:5名
 - ①岸本 吉生 九州経済産業局長
 - ②堀 宏明 (株)電通九州 代表取締役社長
 - ③奥泉 和則 ジェトロ熊本貿易センター 所長
 - ④烏山 一成 九州経済産業局 国際事業課長補佐
 - ⑤蘇 幸恵 同行通訳
- (4)対応者:2名
 - ①謝 明達 (株)裕源 代表取締役社長
 - ②施 振澤 裕毛屋崇徳店 店長

裕毛屋の紹介

裕毛屋企業股份有限公司

◇資本額:2億台湾元

◇従業員数:約700人

裕毛屋(ゆうもや)は、台中市を中心に計4店舗を展開する高級スーパーマーケット。いずれも高級住宅街に立地し、富裕層をターゲットに商品を販売。取扱い商品の約7割は日本製品。



裕毛屋崇徳店の外観

店舗位置

アクセス:台中駅から車で約30分
(台北駅から台中駅は台湾高鉄(新幹線)で約1時間)



現地調査(裕毛屋崇徳店@台中市)②

- ・日本のスーパーは、「安心・安全」と「健康」が結びついていない。“消費者“のためではなく、“消費期限“維持のため、添加物や防腐剤を入れている。
- ・自分の考えは、『無添加』商品の販売による台湾全体の健康化。店内キッチンでガラス張りとし試食コーナーを多数設けて、台湾では知られていない日本食品を台湾の消費者に納得して買ってもらう努力、他社へも経営ノウハウの提供を惜しまない。
- ・台湾は自宅で一から調理する習慣がなく、総菜を買って食べる「中食」が多いため、裕毛屋オリジナルの総菜パックを開発。
- ・他から見れば非効率であるが、この経営方針が徐々に認められ、セブンイレブン・ジャパン向けの販促物や業務用資材の輸出を開始。4月からは一部の日本スーパー向けに天然酵母パンの輸出販売も決定。
- ・調理やパッケージに大変手間がかかるため、今後店舗を大幅拡大していく考えはない。(例. イーストだと1時間で製造できるパンが天然だと50時間かかる)。
- ・県の海外展開事業と連携・協力して全量買い取りを実施。最近宮城県、群馬県、長野県、神奈川県、福井県、京都府、三重県、愛媛県、香川県、宮崎県、鹿児島県の知事自らがトップセールス。自社にとって最大の広告塔であり信用力も向上。

社長プロフィール

謝 明達 MEING-TA HSIEH

1978年東海大学(日本)卒業後、台湾化学メーカーに勤務。ポリ袋の日本市場開拓を担当した。その後、日本と台湾を跨ぎ、大手コンビニチェーンやスーパー向けの商品開発・輸出入を手がける。

1983年4月、裕源グループの日本代表部となる、株式会社裕源を設立。同社の代表取締役社長に就任。

台中市を中心とする直営の高級食品スーパー『裕毛屋』で、日本産の商品を多数取り扱う。

2014年6月には、金門島の免税店(everrich)内に裕毛屋の4号店を開店。



現地調査の様相 (謝明達社長)



(施振澤店長)



(ヒアリング風景)



オリジナル総菜パック



宮崎県特設販売コーナー



日本輸出が決まった天然酵母パン



売り場の様子
(商品表示の見える化
総菜・鮮魚は自前で加工)



左から、奥泉所長、烏山補佐、堀社長、岸本局長、謝社長

台北国際工作機械見本市(TIMTOS)

- ・台湾国際工作機械展(TIMTOS)は、2年1度開催されるアジア最大の工作機械の見本市。
- ・台北市内4つの展示会場に工作機械メーカーが一堂に会し、今回は1,015社、5,411ブースの出展。
- ・来場者数は47,033人(海外:7,130人)、海外来場者は中国、日本、マレーシア、韓国、タイの順。

1. 開催期間: 2015年3月3日(火)～8日(日)
2. 会 場: 台北世界貿易センター他3展示ホール
3. 主 催: 中華民国対外貿易発展協会(TITRA)他
4. 参加企業: 1,015社

